

山梨大学医学部医学科 卒業時コンピテンズ/コンピテンシー

本学医学部医学科では、以下の知識・能力(技能・技術)・態度を身につけた学生に学位を授与する方針(ディプロマポリシー)を定めています。卒業時に医学生が身に付けるべきこれらのコンピテンズに基づき、コンピテンシーを策定しています。

卒業時コンピテンズ (DP)		コンピテンシー	
I	深い人間愛、医療プロフェッショナリズム及び医の倫理	1	患者・家族や社会に対して誠実に行動することができる。
		2	患者・家族の多様性、人間性を尊重することができる。
		3	患者・家族の苦痛や不安に配慮することができる。
		4	生命倫理、医療倫理、研究倫理、医療安全、法令に基づいた判断、行動ができる。
		5	他者との関わりから自らの言動、行動を省察することができる。
		6	身だしなみ、言葉遣い、態度など、他者と接する基本姿勢を身につけている。
II	医学的知識、基本的な診療能力及び患者個々に応じた適切な対応能力	1	人体各器官の構造と機能を認識し、臨床医学が理解できる。
		2	全身の生理的变化を臓器横断的に説明できる。
		3	疾患における病因、病態生理、症候、診断、治療について、知識を基に説明できる。
		4	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えることができる。
		5	患者が抱える問題を心理的、社会的に捉えることができる。
		6	基本的な診療技能を安全に実施できる。
III	コミュニケーション及びチーム医療の実践力	1	医療、保健、福祉、介護に関わる様々な職種の役割りを説明できる。
		2	患者・家族、医療従事者から必要な情報を収集できる。
		3	患者を含む他職種で構成するチームメンバーと目標を共有し、協働できる。
		4	患者・家族、医療従事者に敬意を持って接し、傾聴、共感を伴う支持的なコミュニケーションができる。
		5	適切な情報を患者・家族が理解しやすい言葉で伝えることができる。
IV	生涯にわたり学び、地域医療及び国際医療・社会に継続的に貢献する姿勢	1	医学、医療を自律的、継続的に学ぶことができる。
		2	医学、医療を他者と共同して学ぶことができる。
		3	必要な医学、医療の情報を収集することができる。
		4	社会の中の医学、医療の役割を説明できる。
		5	山梨県の地域医療の現況を理解し、諸課題を説明できる。
		6	行政、国際機関が取り組む必要がある医療・健康課題を説明できる。
V	世界水準の医療及び医学研究の理解と実践力	1	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を説明できる。
		2	科学根拠に基づいた医療の重要性を説明できる。
		3	自然科学および人文社会科学の代表的な研究手法を説明できる。
		4	情報・科学技術を適切に活用することができる。